

平成31年度 須賀川市立第二中学校の教育

《須二中のスローガン》
あいさつの二中 歌声の二中 We love 二中

《学校経営の理念》

- ◎ 文武両道を目指し、活気とうるおいのある学校を創造する。
- ◎ 生徒一人一人が持つ能力や可能性を引き出し、生徒の夢実現に向けた教育活動を実践する。

《学校経営の方針》

- ① 職員の和を大切にし、生徒中心の学校経営を目指す。
(学校経営の目標)
- ② 喜びと充実感のある学校生活を推進する。
(教育活動の目標)
- ③ 落ち着きとうるおいのある教育環境を整える。
(教育環境の目標)
- ④ 『小中の9年間で子どもを育てる』という考えに立った教育活動を推進する。
(小中一貫教育)
- ⑤ 家庭・地域社会との連携を密にし、地域に開かれた学校づくりに努める。
(地域社会との連携)
- ⑥ 絶えず研修に励み、使命感にあふれた教師像を追求する。
(目指す教師像)

《小・中9年間を通して求める児童・生徒像》

- 自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども
- I やさしさをもち、かけがえない命を大切にすることができる
- II 文武両道を通して夢や希望に向かって進んでやり抜くことができる

《須賀川市立第二中学校区小中一貫グランドデザイン》

教 育 目 標

《基本目標》

社会の変化に主体的に対応し、知性と思いやりを持ち、たくましく生きることのできる生徒

《具体目標》

- I 自ら考え主体的に学ぶ生徒 (知性)
- II 明るく思いやりのある生徒 (友愛)
- III 健康でよく働く生徒 (健康)

《県中教育事務所学校教育指導の重点》

《須賀川市学校教育の重点》

- 9年間の系統的なキャリア教育・ふるさと学習（職業観・勤労観の育成）
- 学力向上部・生徒指導部・健康教育部による共通指導（教育の質の向上）
- 小・中学校間の授業スタイルのなめらかな接続（「学びの連続性」の確保）

《特別支援教育の充実》

《いじめ・不登校対策の強化》

《知 性》

- 互いの考えを聴き合い、自分の考えを吟味・修正している。

- 1 校内研修を充実させ、授業力の向上を図ります。
 - ① 各教科で求める「見方・考え方」を明確にする。
 - ② 単元構想の中に「見方・考え方」を働かせる場面を位置づける。
 - ③ 課題に対する見通しをもたせ、必要な知識・技能を身に付けながら課題解決に向かわせる。
- 2 「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の質的改善に努めます。
 - ① 獲得させたい資質・能力を明らかにして、その獲得にふさわしい学習活動を位置付ける。
 - ② 学習状況を看取り、個々の状況に応じて適切な手立てを工夫する。
 - ③ 学びの活性化や学習内容の定着のために、授業の終末で予習や復習の内容を示唆する。

- 学力テストの平均偏差値：52または+2
- 友だちと対話でつながって学習している生徒の割合（授業者の観察）：95%以上
- 自己評価「家庭学習を行っている」でAまたはBの生徒：90%以上

《友 愛》

- 相手の立場や気持ちを理解し、自分の役割や責任を果たしている。

- 1 差別や偏見を容認しない集団づくりに努めます。
 - ① 生徒会や学級の組織を活かして、分け隔てのない明るいあいさつができるよう指導する。
 - ② いじめ防止のための「私たちの約束」を主体的に振り返る機会を学級活動や全校集会、学年集会の中に計画的に位置付けて実施する。
 - ③ 「特別の教科 道徳」の授業を年間計画に沿って実施し、「公正・公平、社会正義」の態度を育てる。
- 2 目標を設定し、自主的に考え、実践できる集団に育てます。
 - ① 自分たちが所属している集団の目標を、達成状況がわかるように表現させる。
 - ② 目標を達成するための手立てや方策を共有し、自分の役割や責任を果たせるよう支援する。
 - ③ 目標の達成状況を評価し、改善策を立案させる。

- いじめ未解決0、3ヶ月後の未解消10%以下
- 自己評価「自ら進んで、誰に対しても明るく元気にあいさつができる」でAまたはBの生徒：95%以上
- 自己評価「自分の役割や責任を果たしている」でAまたはBの生徒：95%以上

《健 康》

- 心身の健康管理に努め、勤労・奉仕の意義を理解して実践している。

- 1 自ら健康の維持・増進を図ることができるよう、計画的に健康相談を進めます。
 - ① 学校保健年間計画（「教育計画」p59）に則って、安全管理・給食・保健教育を行う。
 - ② 保健室や相談室の職員と連携して、教育相談の利用を呼びかける。
 - ③ 生活ノートやアンケートなどを用いたSOSの出し方を指導する。
- 2 将来の夢や希望をもち、その実現を目指して努力できるよう支援します。
 - ① 将来の夢や希望をもって進路を選択できるよう、計画的・系統的に進路指導を行う。
 - ② 部活動と学習の両立を図れるよう学業指導を計画的に実施する。
 - ③ 日常の清掃活動や美化活動を基盤にし、ボランティア活動にも積極的に参加する機会を学校全体で実施する。

- 学級の出席率：97%以上、かつ不登校生徒40%削減。
- 自己評価「将来の夢や希望をもって進路を考えている」でAまたはBの生徒：90%以上
- 自己評価「職場体験や奉仕活動に進んで参加している」でAまたはBの生徒：90%以上

